

しずくしいし 議会だより

平成19年1月25日発行
発行 / 雫石町議会
〒020-0595 岩手県岩手郡雫石町千刈田5番地1
電話019-692-2111 ファックス019-692-2828
ホームページアドレス<http://www.town.shizukuishi.iwate.jp/>
編集 / 議会広報編集特別委員会

No.60

今号の主な内容

12月定例議会のあらまし.....2~4

町の考えを問う

一般質問 10議員が登場.....5~14

(一般質問の内容は、質問・答弁を質問者自らが要約し、掲載しています)

追跡リポート.....15

委員会活動報告.....16~17

ふるさとへの便り26.....19



今号の表紙 / 笑顔晴れやか新成人を祝福

雫石町成人式が1月8日中央公民館で行われ、町議会議員も出席し、保護者や恩師の方々と一緒になって新成人の晴れの門出を祝福しました。式典では、杉田議長が議会を代表し祝辞を述べ、議員たちも雫石を担う若者たちと握手を交すなど激励。会場はスーツや羽織はかま姿の男性や振り袖姿の女性など華やいた雰囲気があふれる中、級友や恩師との再会を喜び、20歳の節目に誓いを新たにしていました。



定例会のあらまし



新春のご挨拶

町議会議長 杉田 和正

新年明けましておめでとうございます。

平成19年の年頭に当たり、謹んで新春のご挨拶を申し上げます。町民皆様方には、平素から格別のご支援とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

本年も決意を新たに、更に精進して参りたいと存じますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、本議会では昨年末、議会改革に関する最終報告を行いました。この中で議員定数の削減や一問一答方式の試行、さらに委員会条例の改正を実現いたしました。現下の厳しい時だからこそ、お互い知恵を出していく必要があります。町の活性化は、町民との協働が不可欠です。議会改革は町民のために行うものであることを念頭に、今後とも精

一杯議会活動に取り組んでまいります。

議会が頑張るからみんなも頑張るといふ雰囲気をつくるよう全議員努力いたしますので、どうか、皆様方の格別のご理解とご協力を切にお願い申し上げます。

終わりに、本年が皆様にとりましてよりよい年となりますよう、心からご祈念申し上げます、新春のご挨拶といたします。

日豪自由貿易協定に関する意見書可決

12月定例会は12月8日招集され、会期を15日までの8日間とし、平成18年度一般会計補正予算など18議案が上程、提案理由が説明されました。

一般質問は2日間にわたって10人が登壇し、23項目について質議が交わされました。

18年度一般会計補正予算は歳入歳出にそれぞれ3億5,813万3千円を追加し総額81億2,400万8千円とするものです。

人事の同意案件では教育委員会委員の佐々木浩子氏、監査委員の徳田一士氏の再任、固定資産評価委員会委員の矢幅新氏、築場弘貴氏の選任に同意。町廃棄物処理等手数料条例の一部改正、町議会委員会条例の一部改正、日豪自由貿易協定交渉開始に関する意見書の提出についての議員発議案などを可決しました。

各会計の補正状況

会計名	補正額	補正後の総額
一般会計	3億5,813万3千円	81億2,400万8千円
下水道事業	296万7千円	9億2,661万8千円
農業集落排水事業	14万4千円	1億5,132万9千円
簡易水道事業	14万7千円	2,807万1千円
介護保健事業	200万4千円	9億4,836万8千円
零石病院事業	681万8千円	6億1,611万円
水道事業	3万9千円	2億8,979万6千円



12月定例会中に雫石分署に配備となった新型消防車輛（装備を含め約3,660万円）を視察する議員たち

補正予算の主なもの

▶ 公共施設等整備基金積立金	1億円
▶ 雫石保育園入所児童運営費（増）	829万6千円
▶ セツ森保育所運営委託料（増）	968万8千円
▶ 病院事業会計補助金（増）	9,000万円
▶ 清掃センター計量ソフト変更業務委託料	478万8千円

▶ 既存春木場住宅解体工事費	602万円
▶ 町国際交流協会事業補助金	90万円
▶ スポーツ拠点づくり推進事業補助金	440万円
▶ 町営クロスカントリースキー場工事費	2,167万3千円
▶ 豪雨災害復旧工事費	3,084万8千円

条例

土地開発基金条例の一部改正を可決

現在、1億1千万円としている基金の額が利子などで増加した場合は、その基本額を下回らない範囲内において一部を処分してもよいことに改めました。

町廃棄物処理等手数料条例の一部改正を可決

- ▶ 犬、ねこ等の死体処分現行1体500円を、5,250円に改めました。
- ▶ し尿処理（収集運搬及び処分）現行10ℓにつき58円を10ℓ当り58円×105/100を乗じた額に改めました。
- ▶ 町民自ら搬入する家庭系一般ごみ現行100kgまで300円を200kg未満無料
200kg以上210kgまで30円とし、10kg増すごとに30円を加算することに改めました。
- ▶ 事業者が自ら搬入する廃棄物10kgまでごとに100円とし、町民家庭系一般ごみと分けた条文と

しました。ただし平成19年度は60円、20年度は80円とするものです。

雫石町児童館条例を全部改正を可決

指定管理者による管理運営を行うため、全部改正としたものです。

町水道事業の設置に関する条例の一部改正を可決

鶯宿簡易水道の給水区域の追加拡大のため整備改正したものです。

町立病院使用料および手数料条例の一部改正を可決

厚生労働省告示の改正により、入院時の食事療養費にかかる算定について「食事療養の費用」のほか入院時生活療養費に係る生活療養の費用の額の算定に関する基準を加えた内容に改めたものです。

雫石町手数料条例の一部改正を可決

個人情報保護のために、住民基本台帳の一部の写しを閲覧する事務整備を図ったものです。

人事

12月定例会において、教育委員、監査委員、固定資産評価審査委員の同意を求める人事案件が提出され、満場一致で同意しました。

人権擁護委員に3名の推薦について、意見を求められ全員を適任と決定しました。

任期満了に伴い教育委員の再任に同意しました。任期は平成23年1月12日までの4年間です。

佐々木 浩子さん(43歳)
安庭行政区在住



ささき ひろこ
佐々木 浩子さん



とくだ かずし
徳田 一士氏

任期満了に伴い監査委員の再任に同意しました。任期は平成23年1月12日までの4年間です。徳田 一士氏(66歳)
長根行政区在住

任期満了に伴い固定資産評価委員の選任について次の2名を同意しました。任期は矢幅氏が平成21年12月17日、築場氏が平成22年1月12日までのそれぞれ3年間です。

矢幅 新氏(57歳)西根谷地行政区在住
築場 弘貴氏(42歳)中町一行政区在住



やはば あらた
矢幅 新氏



やなば ひろき
築場 弘貴氏

平成19年3月31日をもって任期満了となる人権擁護委員3名の候補者の推せんについて意見を求められ全員を再任と決定しました。

選任された人権擁護委員(敬称略)

氏名	年齢	住所
大谷地 正美	70	中南行政区在住
高橋 健	72	戸沢行政区在住
藤原 恒子	65	六区行政区在住

議員発議

町議会委員会条例の一部改正を可決

議員定数を2人削減し、20人にしたことにより常任委員会の委員定数を次のように改めました。

総務常任委員会 「8人」を「7人」
教育民生常任委員会は変更なく「7人」
産業建設常任委員会 「7人」を「6人」としました。

任期は、議員の任期(4年)としていたものを「2年とする」に改めました。

日豪経済連携協定交渉開始に関する意見書を可決

日本政府は、オーストラリアとの経済連携協定(EPA)の交渉を進めることを正式決定したが、これが進み関税撤廃がなされれば、本町のような稲作と畜産を主体とする農業経営は成り立たないという危機感があり、「重要品目を関税撤廃の例外とする」よう衆参両院議長、総理大臣ほか関係大臣に強く要請する内容の意見書。

抗議を含めた内容の意見書を提出したのは、栗石町議会が最も早かったものと思われます。

第6回臨時会

11月24日臨時議会が開催され、高橋公雄氏(鶯宿行政区、58歳)を助役に選任することについて同意を求める案件が上程され、原案のとおり同意することに決定しました。

任期は平成22年11月28日までの4年間です。



たかはし きみお
高橋 公雄氏

質問者/
うわのみよじ
上野三四二 議員



御所地区下水道の遅れなぜ

上野議員 御所地区は、鶯宿幹線下水道や集落排水の遅れで水洗化率が低い。住民の生活環境改善や御所湖清流を守るためにも促進が重要である。県と町の関連整備計画を具体的に示されたい。計画では平成20年に片子沢までとし、上流に向うとなっていたのに、この遅れは、住民生活の公平性を欠いている。また合併浄化槽のくみ取り料金も基準以外の「掃除料、諸経費」とし高額徴収もあると聞く、業者指導はどうなっているか。

町長 北上川上流流域下水道都南処理区として事業促進を強く要請してきた。昭和54年度事業着手以来、見直しがあり、現在繋ポンプ場からしだ内橋の整備が終わり、平成23年までに町場までは整備を行うことになった。町は幹線整備と連携し沿線整備を促進していく。多額の経費と時間が必要でありご理解を頂きたい。

くみ取り料は、10%当り58円の外は確認していない、個人の契約だが実態を調査し対応したい。

松くい虫被害対策は

上野議員 松くい虫被害は県内でも拡大し、松林、観光名木の枯渇が大きい。被害地の花巻、紫波町に隣接する町として、警戒が必要だ。対策と取組みは。

町長 町内の被害確認はないが、いつ発生するか分からないので巡視活動を実施してい

る。また被害区域から松の搬入をしないよう林業関係者に協力を求め進入防止をはかる。

いじめや児童虐待ないか

上野議員 いじめ、自殺、虐待、家族内殺人など人権や生命にかかる重大事件が発生している。

本町には問題がないか。また相談活動などは機動的に機能しているか。

町長 「要保護児童対策地域協議会」を窓口、警察、医療団、学校、保育所など多くの関係者で見守っていく体制をとっている。現在虐待相談5件ある。そのうち継続指導2件、相談センター送致1件、地域見守りなど2件となっている。

今後とも、町民に対し「いじめ、自殺、虐待」の予防に向け啓発活動につとめる。

学校教育課長 「いじめ」はないとは言えない。校長会議などで実態把握に努めている。



産業建設常任委員会で公共下水道の塩ヶ森ポンプ場を視察する委員

町長 / 県と連携し沿線地域整備促進



質問者/
田中栄一議員
たなかえいいち

文化基金の目的達成されたか

町長 / 統合する方向で検討中

田中議員 ふるさと文化基金は、産業や文化の振興を図ることを目的に設置されているが、その目的は十分に達成されていないと考える。現在ある基金額4億2,600万円を今後どのように運用する考えか。

町長 ふるさと文化基金は、運用益（利子）を持って事業を行うという仕組みであるが、近年のゼロ金利政策による運用益の減により、仕組み自体が困難であると考えており、文化基金運用委員会で協議していただき、財政調整基金に統合する方向で考えている。

コミュニティ形成推進事業の見通しは

田中議員 今年度から新しい事業として地域コミュニティ形成推進事業に取り組んでいるが、今後の事業の見通しについて伺いたい。

町長 本年度は「18」の自治会が結成された。また、自治会に対しての交付金は、総額で223万2千円を既に交付している。現物支給もしている。来年度以降は、新たに「16」の行政区が取り組む予定である。今後も支援を行いたい。

防災士を育成する考えないか

田中議員 NPO法人「日本防災士機構」が災害時の被害を少しでも軽減し、実際に役立つ知識や技術を持った人材を養成し、災害現場で活躍出来るようにするというのが防災士である。本町でも、地域コミュニティ形成事業と合わせて防災士の育成を考えないか。

町長 身近な地域や職場に防災士が数多く存在することは、生命や財産に対する損害を軽減させる観点から非常に有効なものと考えている。現在、研修費・受験料などの費用や、県内では研修講座が定期的には開催されていない事などから総体的に考慮したとき、自主防災組織のリーダーの育成と防災士の育成を直接結び付けて推進することは、課題も多くあると認識している。



18年度ふるさと文化基金を活用して整備した横欠地区観光資源整備事業の様子

一般質問

質問者 /
いとうてつお
伊藤哲夫 議員



景観形成について

伊藤議員 中屋敷町政2期目の公約として20の施策を示しているが、次のことについて見通しと見解を伺いたい。

- ①自然と共生、安らぎのある景観形成について
- ②環境基本条例の制定と環境基本計画の策定について
- ③ユニバーサルデザインについて

町長 ①昨年「雫石町ふるさと景観条例」を定め、本年度、橋場地区では地区民が景観推進協議会を設立し、景観の点検やアンケート調査を行い、景観住民協定締結に向けて具体的取り組みを開始している。

今後も、雫石町ふるさと景観条例のさらなる周知を図るため説明会などを開催し、理解を得ながら地域の景観形成の推進に努める。

②環境基本条例策定に向けて、すでに環境基本条例策定検討委員会を町内外11名の方々に委嘱し、過去3回開催。

その中での議論とパブリックコメントを実施し、集約して素案を策定も、一部条項について更なる検討が必要となったことから、本年中の制定を目指す。制定後は、環境基本計画を策定、数値目標などの指標を設定、進捗状況を定期的に把握し、達成に向けて取り組みたいと考えている。

③一般的にユニバーサルデザインとは、全ての人々が支障なく快適に製品、建物、空間、環境などさまざまな物を始めからデザインするという考えである。当町のユニバーサルデザインは、ハードにとらわれることなく、人の心も含め、ソフトによるユニバーサルデザインを進めることが重要と考える。

このような考えに基づき、現在プロジェクトチームにより、雫石町版基本構想・基本計画の策定を作業中である。内容は「心のユニバーサルデザインを進めよう。施設・建物のユニバーサルを進めよう。移動の円滑化を図ろう。住民との協働を図ろう」の4項目を基本方針として検討を進めている。



昨年11月本町を会場として開催された「観光のユニバーサルデザインフォーラム」

町長 / 条例のさらなる周知を図る

こ
こ
が
間
き
た
い
・
一
般
質
問



質問者ノ
大村昭東議員

政策評価で業務改善されたのか

町長 / 評価技術の向上を図る

大村議員 本町の政策評価は、行政改革、業務改善に結びついているか。係の名称を変えたグループ化は分かりづらいという声が圧倒的だがどうか。

町長 政策評価を導入して間もないこともあり、今後評価の技術が向上することによって評価コストが低下すると考えている。

大村議員 雫石町観光ビジョンの具体的行動計画はどのようなものか。

町長 平成22年度を目標年度に来年度の行動計画を本年度中に取りまとめたい。

大村議員 農協再編6農協構想に対する本町の農業政策推進の条件整備はどうなっているか。

町長 県内6農協構想どおり農協が再編される場合においても、どんな方法があるのか、どんな体制が良いのか真剣に議論していただき結論を出していきたい。

大村議員 品目横断的経営安定対策を受けて、しずくいし農業をどう立て直すのか。

町長 担い手への農地利用集積を進め、担い手が経営体の核となり、小規模農家や兼業農家等とも一体となった営農体系への転換を図ることが重要であり、雫石型複合経営の推進に努める。

大村議員 農業公社、産業公社の設立はどうなるのか。

町長 産業公社については公社機能を株式会社しずくいしが担い、農家所得の向上と地産地消の推進を図る。

大村議員 しずくいしアグリリサイクルセンターの平成18年度経営収支の見通しは。

町長 今年度全体での収支は、予定されている町からの助成を含めた場合は経営収支はバランスが取れると予想している。

大村議員 県内市町村の「岩手県民力」と「市町村所得推計」が公表されたが、この二つの調査資料から、本町の産業活動や消費、文化など総合的な経済力をどのように総括しているか。

町長 第一次産業については農産物の高付加価値等、第二次産業については既存産業の高度化、第三次産業については観光と他産業の連携による施策の推進などを考えている。

一般質問

質問者/
さかしたえいいち
坂下栄一 議員



町内企業と 公害防止協定の締結は

坂下議員 町長が、環境への負荷の少ない持続的発展が可能な社会の構築を目指す、というのであれば、町内で活動する企業全てと公害防止協定の締結が必要と考えるが見解は。

町長 大気汚染防止法、騒音規制法、振動規制法等で規定する特定施設を有した新たな事業者を中心に協定を締結したい。現在6事業所と協定を結んでいるが、その他の既存の事業者については協定の締結に向け事業者の理解を得ながらすすめる。なお、協定の締結に関して法的根拠がないことから、策定中の「環境基本条例」もしくは「環境基本計画」の中に協定の締結を明文化するよう検討する。

坂下議員 協定を結ぶ際の基準はどのように考えるか。

町長 国や県と同じ基準では意味がないので、町としてはより厳しい基準を考える。

坂下議員 これまで公文書は、定められた保存期限に達すると廃棄してきたが、公文書は町の財産であり歴史を証明するものだと思う。よって「公文書館」を設置し保存期間が過ぎた文書については公開してはどうか。

町長 公文書館は、自分が生まれ育った郷土を知るうえでも意義深いものと思う。しかし施設の設置となると財政面からみて難しい。従って歴史的な価値があると思われる公文書

や古文書のほか埋蔵文化財などの文化遺産的なものについては、歴史民俗資料館や図書館の機能のあり方、公文書管理のあり方などを検討し将来の世代に残し伝える体制を検討する。

坂下議員 軽トラック市は2年を経過したが、成果と課題をどのように分析しているか。

町長 今年は昨年を上回る15,300人の来場者があった。成果としては、商店街に賑わいが出てきたことと各商店が積極的になってきたこと。

課題としては、実行委員会への幅広い産業分野からの参画と運営費の安定確保、既存商店のさらなるサービス向上と自主企画運営の取り組み。また商店街を通過している県道のユニバーサルデザイン化も検討課題だ。



町の新たな魅力づくりとして中心商店街で開催されている軽トラック市

町長 / 環境条例あるいは 計画に明文化する

こ
こ
が
間
き
た
い
一
般
質
問



質問者/
にしだまさひろ
西田征洋
議員

LVL工場説明会町民は納得したか

町長 / 理解を得て所期の目的は達成した

西田議員 LVL（木材加工工場）工場誘致問題は町の観光行政全般への姿勢が問われる問題だ。岩手山南麓エリアを包括する観光のあるべき姿を示す基本的な計画をたて、この地域に煙の出る施設が必要なのか、必要としてもどの程度のものが許容されるのか等住民の合意が成り立って初めて具体的な各論に入ってゆくのが筋であり、これがないまま行政が一方的にLVL工場誘致を進めることが問題だ。これが背景にあるからこそ10月3日の現地説明会で住民からいろんな疑問が出されたものであり、最後まで納得の得られるものではなかったと記憶している。この現地説明会をどう町は評価するか。

町長 説明会では企業と町それぞれが説明し、地域住民の皆さんに事業計画が理解され、所期の目的を達成したものと考えている。さまざまな質問、意見、提言は企業側も町としてもこれを真摯に受けとめ、今の事業計画の推進に反映してまいりたい。

議員が企業立地に賛成？

西田議員 議員全員協議会での町の企業立地の説明に議員が反対の表明をしなかったことをもって賛成であるかのごとく当局は言っているが。

町長 議員全協では質議がなかったという表現をすべきだった。表現方法の誤りについてはおわびを申し上げたい。

安全以上の安全とは

西田議員 岩手日報インタビューで言われた安全以上の安全を企業に求めるとは。

町長 法基準以上の環境対策 当面アルデヒドを含まない接着剤の使用、車輛通行ルート of 徹底、工場予定地内での製造施設の北側から南側への変更他、企業努力を求めて行く。



平成18年10月3日西山地区構造改善センターで行われた住民説明会

一般質問

質問者 /
 上小林 浩 議員



高校存続には 小中高連携が大事

上小林議員 雫石町の将来を考えた時、農業の振興と教育の振興が大事である。この中で教育環境の整備・県立雫石高校の存続問題について今後どのように取り組むのか。

学校教育課長 授業内容などの教育環境と学校施設面での教育環境の二つの側面があり、経済効率の面と教育効果の両面から学校の適正規模と配置・統合の議論が必要である。

町の将来を担う子どもたちの学ぶ権利を最大限保障できるよう、町民の皆さんと議論し検討していかねばと考えている。

上小林議員 教育基本法の改正・やらせ質問・高校の未履修・小中学校のいじめ問題など、教育界を取りまく状況は厳しいものがある。当教育委員会では、委員の欠員・教育長の空席という非常に憂慮される事態になっている。これについて町長はどのように考えているか。

町長 最終本会議の12月15日には教育委員会議を開き教育長が選任される予定である。議会中に不在ということは議員の方々に不満かもしれないが、すばらしい教育長予定者でありご理解を賜りたい。

上小林議員 雫石高校の存続には、小中高の連携が大事だと思うが、今後の取り組みは。

学校教育課長 本年9月、町と雫石中学校・雫石高校の3者で雫石町中高連携教育推進支援計画を策定し、町民への雫石高校の広報の配布等支援体制が整った。この体制で20年先・50年先の教育の充実発展をさせていくことができるものと考えている。



マスコミや県内外の各学校から注目されている雫石高校保健委員会の保健劇

学校教育課長 / 中高連携教育推進 支援計画を策定

こ
こ
が
聞
き
た
い
・
一
般
質
問



質問者 /
いしがめ
石亀 貢議員
みつぎ

不法投棄防止対策は

町長 / 監視員の巡回活動を強化

財政運営方針について

石亀議員 平成18年度の地方財政見通しや、地方公共団体における財政運営上の留意点を盛り込んだ、総務省自治財政局財政課長内かんの地方税については、「課税客体、課税標準の適正な把握、着実な滞納整理を図り徴収確保に努められたい」とあるが、滞納額が累増している本町は、どう対策を考えているか。

町長 滞納整理機構の活用や、独自の滞納処分、滞納者に対する実態調査を適正に実施、税の公平性を損なわないように努めていく。

石亀議員 地方交付税については「過大見積りを行うことのないように」とされているが、予算計上額はどうか配慮され見積りされたか。

町長 基準財政収入額及び基準財政需要額を構成する約100件の費目ごとに概算額を算出、予算全体の財源の状況、各種情報による動向を勘案し、過大見積りに注意を払い予算額を決定している。

石亀議員 「使用料、手数料及び分担金、負担金については常に見直しを行い」とあるが、適正化について検討しているか。

町長 依然厳しい経済情勢、少子高齢化が急速に進展している中での保育環境の整備等、本町の現状にかんがみ、見直しに関しては慎重な対応が必要と考えている。

廃家電の不法投棄について

石亀議員 平成13年4月から家電リサイクル法が施行され、エアコン、テレビ、冷蔵庫、冷凍庫、洗濯機が特定の家庭機器として消費者が費用負担しリサイクルを推進している。

美しいまちづくりを目指し、不法投棄を防止するための強化を必要と考えるが対策は。

町長 不法投棄は現実に対応に苦慮している。不法投棄監視員の巡回監視活動の中で回収し処理しているが、リサイクルできるものは製造業者に引渡すよう努めていく。

今後も廃家電の不法投棄の未然防止について、より一層周知啓発に努めたい。

基準財政収入額 = 全国の自治体の収入を一定のルールで算出した額

基準財政需要額 = 全国の自治体が平等に行政サービスを提供するために必要な額を一定のルールで算出した額

一般質問

質問者 /
やちよしかず
谷地善和 議員



LVL工場、環境保全協定の締結は

谷地議員 企業立地に係る住民説明会は、一度開催されたが、理解が得られるよう何度でも開催するべきではないか。

町長 町としては、基本的な考え方を説明し、企業側でも鋭意説明したものと思っており、立地予定周辺住民に事業計画を説明するという所期の目的は達成した。

町民の多くが、今回の企業誘致について、町の広報あるいはマスコミ報道等で理解しているものと考えている。一部反対されている方々もおられるが、必要な申請手続きが企業側から県に行われ、11月27日付けで開発行為申請が許可され、また12月1日付けで林地開発の許可が下りたことから、町としては法に基づく適正な判断がなされたものと考えている。

化学物質過敏症の家族への影響は

谷地議員 排ガスの基準値を大幅に下回る計画値の木材加工工場の進出は歓迎するものであるが、近所の化学物質過敏症のご家族への影響には、細心の配慮が必要である。大学教授などの第三者に安全性の判断を依頼するべきではないか。

町長 化学物質過敏症の対策については、環境省、厚生労働省および多くの大学病院あるいは医療関係者等により調査研究中である。

第三者に安全性などの判定の依頼は、引き受

け先を含めて非常に厳しい現実があるものと思っており、町独自の何らかの方策がないか議会とも相談しながら検討したいと考えている。

町としては、より環境に配慮した事業となるよう、企業側にも強く要望している。

環境保全協定は

谷地議員 川井林業に町が加わるかたちで、環境保全協定を地域と締結するべきではないか。

町長 一般的には、町が住民を代表して企業と各種協定を締結しており、住民が直接企業と協定を結ぶことについては、企業側の意向もあるが、今後検討したい。

町としては、今回の事業は環境保全協定の中で精査できるものと考えており、地域住民の皆さんの意見を十分踏まえて協定を締結したい。



昨年12月20日、町と(有)川井林業が工場立地協定に調印

町長 / 企業側の意向もあるが検討

こ
こ
が
間
き
た
い
・
一
般
質
問



質問者ノ
猿子恵久議員

米の今後の販売対策は

町長 / 新たな販路拡大の情報収集

猿子議員 町では今後、米の低価格に対応する労働生産性の向上や販売対策をどのように進めていくのか、基本的な考えは。

町長 集落や地域の担い手への農地集積、作業機械、施設の共同化などによる労働時間の削減を図る。また、省力化や効率的な生産体制への転換を行い、低コストな米づくりが必要である。生産者と消費者とがお互いに「顔が見え、話ができる」信頼関係に努めて、新たな販路拡大のための情報収集を行うなど、出荷、販売流通部門を担うJA及び関係機関と連携、協調していこうと考えている。

猿子議員 雫石の地域特産品目の徹底を図り、農畜産物のブランド化と流通システムの確立をどのように進めていこうとしているか。

町長 販売面において、市場調査を実施し、「ワーコム米」や「ミリオンライス」など付加価値米への取り組みをさらに促進するとともに、消費地との相互交流や情報交換による強い信頼関係の構築により長期の安定した供給体制の確立を目指す。畜産においては、「雫石牛」の知名度の向上、イメージアップ、流通、消費拡大の促進と併せて流通関係者との信頼関係の構築を図る。野菜、花きについては省力生産体系の導入により、個別の規模拡大と低コスト生産の促進により長期安定出荷数量の確保に努めていく考えである。

猿子議員 農協大型合併案が正式決定された中、行政として農協との連携のあり方をどのように考えていくのか。

町長 各市町村の農家目線での対応ができる営農指導、出荷体制等を構築するものであれば良いと考えており、新たな目線にたち、事業展開に取り組むなど、互いに提案し今まで以上に本町の農林業の振興のため、農協等農業関係団体との連携協調を密にし、さらに農業者との連携を図れるよう、鋭意努力していく。

市街地活性化について

猿子議員 中心市街地の再生にあたり、多機能施設を中心市街地の中核施設として整備したいとしているが、具体的には、どのような施設を考えているのか。

町長 広域的な観点から交流人口を増やすことが鍵であると考えており、町として誘客力を高めながら、中心市街地への人の流れを誘導することができるよう、魅力的な核となる拠点を形成することを目的とする施設である。

一般質問

あの質問は…その後どうなった



前号に続いて追跡リポートをご紹介します。今回も、町議会で行われた一般質問の中から 2 項目を選び、その提言が町政にどう反映されているのかを調査してみました。



案内標柱も設置された新登山道

質 問

学校給食に地元食材の利用促進を
(平成15年9月)

処理状況

質 問

ケッパレランドを起点とする男助山山頂
への登山道整備を (平成18年3月)

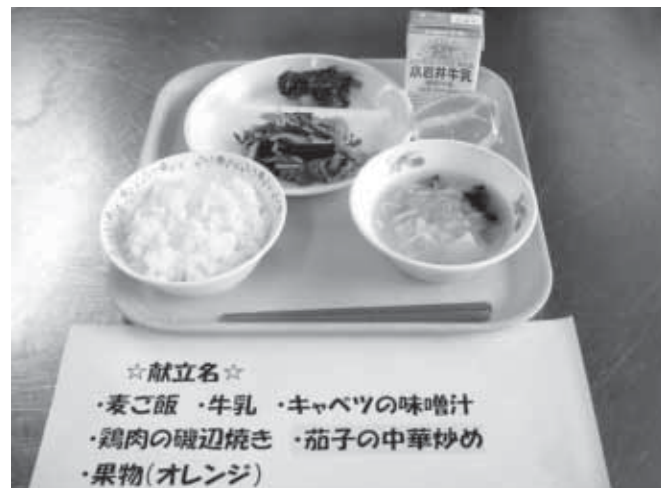
処理状況

その後

平成17年度末現在、小中学校全体の給食食材費で見ると平均11.1%となっています。
課題は、学区内の産直組合の創設と多品目で大量生産にありそうです。

その後

平成18年に案内標柱の設置が行われ、登山ルートが確立しました。(全長約6キロメートル)
ケッパレランド 男助山山頂 鶯宿温泉



☆献立名☆
・麦ご飯 ・牛乳 ・キャベツの味噌汁
・鶏肉の磯辺焼き ・茄子の中華炒め
・果物(オレンジ)

地元産野菜を使った学校給食の献立(セツ森小)

調査実施日 /
平成18年11月27日・12月11日
調査項目 /
所管事務調査

総務

総務常任委員会（坂下栄一委員長）は、11月27日篤宿温泉活性化事業について篤宿観光協会（照井雄詞会長）から、5カ年計画の具体的な事業の取り組みについて説明を受け、現地調査をしました。30の魅力作りを始めとするこの事業は順調に進んでいるようです。



篤宿温泉活性化事業の取り組みについて説明を受ける総務常任委員

12月11日は、小岩井一本桜駐車場整備事業（小岩井農牧）の進行状況と木質チップ燃料確保支援事業（岩手中央森林組合）による県営温水プールのチップボイラー導入に伴い、間伐材を利用して木材チップの生産と燃料の供給体制の説明を受けたあと、チップボイラー設置状況（県営屋内温水プール）を現地調査しました。



小岩井農場一本桜駐車場の整備状況について調査する委員

調査実施日 /
平成18年11月30日、12月11日
調査項目 /
先進地調査。所管事務調査

教育民生

教育民生常任委員会（坊屋鋪俊一委員長）は、11月30日に秋田県横手市の秋田県南部老人福祉総合エリアの先進地調査をしました。

このエリアでは、「心豊かに地域の健やかな歩みを支える福祉ゾーン」として世代間交流。地域交流を通じて、いろいろな人との出会い、ふれあい、語り合いの中、「活力とうるおいに満ちた長寿社会」を実現するために、秋田県が建設した総合施設「南部シルバーエリア」でありました。

入居者と地域の方々に開放されたコミュニティセンターでは、宿泊、休憩、入浴などの憩いのスペースを整え、各種スポーツ活動、生きがい活動の拠点として、豊かな地域福祉に貢献しており南部シルバーエリア周辺は、公立大森病院を核とする「健康の丘おもり」との連携をもってさらに充実した県民の福祉サービスを推し進めていました。



施設管理者から「活力に満ちた長寿社会」を実現するための運営方法などについて聞き取り調査をする委員

12月11日には所管事務調査をし、安庭小学校の改築について説明を受け、19年1月に設計完了予定であり、過大設計にならないように規模を現況程度として進めているとのことでした。

また、教育懇談会の実施状況は、10会場で参加者数が171名、「小学校の適正配置」に関するアンケートは、現在約50%を回収できているとの報告がされ、今後も環境問題と少子化対策と併せて学校再編について調査することとしました。

調査実施日 /
平成18年11月30日、12月11日
調査項目 /
先進地調査、所管事務調査

産業建設

産業建設委員会（横欠君夫委員長）は11月30日に秋田県横手市において秋田杉集成材工場を視察調査しました。本町に計画されている単層積層材製造施設建設にあたって環境問題や産業振興についての調査で、雄物川中流に立地する横手市を中心とした上下流域の製材業者や森林所有者21名で、秋田県南木材高度加工協同組合を設立し、平成17年7月から木材加工施設を稼動していました。

環境問題については、工場立地場所は横手工業団地内であり、工場新設にあたっては、周辺住民の理解を得るべく、県担当部局と打ち合わせ、指導を受けて着手し、環境影響調査は特に実施していないとのことで、市や住民との公害防止等についての協定は、締結していませんでした。この施設の今後の課題は、原木の調達と価格の変動への対応が課題とのことでした。

12月11日所管事務調査をし、オーストラリアとの自由貿易協定交渉開始に関する重要品目除外について、国会と政府に意見書を提出したいとの意見があり、議会運営委員会、議員全員協議会の協議を得て、決議に要する手続きを進めることにしました。

また、体験農園の利用状況の説明を受け、40アール区画は全部利用されており、利用者は、盛岡市25人、滝沢村8人、紫波町6人、雫石町1人となっています。

今後の継続調査は、産業振興についてを調査することにしました。



環境問題を中心に秋田県横手市の集成材工場を視察

委員会条例を議員発議 議員改革調査特別委員会

議会改革調査特別委員会（中野勇委員長）は議員の活性化と開かれた議会運営に取り組むための調査を行い、これまで38回におよぶ小委員会、正副委員長会議、そして委員会を開催し、先進地の視察を行うなど議会の活性化への調査や検討を重ねてきました。

その結果、12月定例会で次のような最終報告を行うとともに、委員会条例の一部改正を議員発議し、全会一致で可決。3年間に及ぶ調査活動を終了しました。

議会の活性化と開かれた議会運営に取り組んだ主な内容

1. 議員報酬について
 - 平成16年度の議員報酬を一律月額1万円減額
 - 平成17年度の議員報酬を一律月額1万円減額
2. 議員定数について
 - 議会の議員定数を2人減少し20人に
3. 議会運営について
 - 会期日程及び議事日程のあり方（提案理由を一括して、初日に説明）
 - 一般質問のあり方（答弁書配布、一問一答方式）
4. 情報提供について
 - 議場内音響設備の改善、更新
 - 議場内発言残時間および予鈴の設置
5. 常任委員会等のあり方について
 - 委員定数の見直し（総務7人、教育民生7人、産業建設6人）
 - 委員の任期（2年とした）
 - 委員会条例の改正
6. 事務局体制の強化について
 - 併任書記の発令
7. その他
 - 附属機関等の会議資料の提供について



かわくち ふみお
川口二三男さん
(54歳・篤宿)

自立に向け活発な 議論を望む

「議会だより」を拝読させていただき感じる事があり投稿させていただきました。一般質問に登壇される議員の皆様には町政の多岐にわたり熱心に取り組む様子見受けられますが、毎回同じ議員さんが登壇しているように感じられます。登壇しない議員の皆様は常任委員会で活躍していると聞き及びますが、町民には伝わることなく残念に思います。地方交付税が減少する中、行政改革は進まず、歳出にしめる人件費、公債費等の義務的経費の比率が増すばかりに思われます。夕張市破綻以来、地方自治における議会の重要さが増すばかりです。職員の待遇、《学校給食民間委託、町立病院公設民営化による職員の削減》、下水道事業の見直し等健全経営の為、活発な論議が行われることを期待いたします。



いわもち と き こ
岩持斗季子さん
(51歳・岩持)

1票の重みと 責任を再認識して

12月12日御明神婦人会の研修の一環として会長他14名で議会を傍聴いたしました。初めて傍聴席に座り、議場の品格ある雰囲気身に引き締まる思いでした。

議員と町長の毅然とした質問と答弁に耳を傾けながら、改めて1票の重みについて考えさせられました。

連日、夕張市の事が報道されておりますが、他人事ではありません。市長や議員だけではなく、その人達を選んだ市民が責任ある投票をして行政に参画していたならば別の道もあったのではないのでしょうか。

時は今、選挙の年です。零石町が発展するためにも、有権者が棄権することなく責任ある1票を投じてほしいと願っております。

行政および選ばれた議員の皆様には、諸問題を解決に向けて尚一層の御活躍を期待して止みません。



しな しんいち
階 新一さん
(64歳・下町三)

町長、議員に 感謝と要望

私も何度か議会を傍聴してますが、確かに自分の質問にあたって、自分の思いついた事をミスのないよう活発に意見を申し述べてました。議会が始まる何日か前から、かなり勉強して来たんだなとつくづく感じさせられました。町民の幸せのため、町の活性化のため、努力している町長議員に深く感謝申し上げます。

一言だけ気が付いた事は、新人議員の質問人数が多過ぎるのでは。新旧交互に質問した方が、もっとバトルがあって中味の濃い議会になるのではと感じて来ました。最後に一般の方々の声ですが、町民の方々が議員に要望した事に対して、返事が来ないと嘆いている方がおります。是非、お願いした事に対しては、議会を通じてイエス・ノーのコメントをお願いしたいものです。

ふるさとへの便り — 26



かんのんどうまつ お
在京雫石町友会会員 **観音堂松雄**さん

友情は遠き日のまま

友情は遠き日のまま年明け 毎年新春になると雫石の竹馬の友から多くの年賀状が届きお互いの健康を心配し合う年になりました。年末に鎌倉に行きました時、あるお寺でこんな言葉が貼ってありました。行く年、20代 各駅停車・30代 区間急行・40代 準急・50代 急行・60代 特急・70代 超特急・80代 ノンストップ 来る年。世の中の人間を感じる1年の早さのようです。少年時代の3年間は随分長く感じましたが、60代の1年なんて特急のように過ぎ去っていくこの頃です。

私が雫石をあとにしたのは半世紀の50年前です。現在のような田園風景ではなく曲がりくねった道と山村風景のある里山でした。戦後もようやく終わり、集団就職で多くの若者が東京へ向かい、日本も成長に向かい始めた時代でした。

私は家の事情で盛岡から夜間の学校に行くため、八戸の有力者の所に働きながら通学していました。3年後大きな大火があり、屋敷が全焼して友人の家に世話になりながら上京したのは昭和37年でした。東京オリンピックを控え、東京中の道路が掘り返されていました。新橋の第一ホテルで修行しながら、夜は赤坂の料亭で下

働きをしていました。その後、四谷の老舗自慢本店で新規に駅ビルに出店しては、また出す、という忙しい仕事でした。その間岩手県の千田知事のご紹介で、王子製紙という会社に出向して、まだ未完成の御所ダムの上にある御所会館という所に3年程勤務して、雫石の皆様にもお世話になりまして感謝いたしております。その後東京に帰り、一転奮起して海外に働く事になり三井物産という会社の契約社員としてハワイ、マニラを含め14年半、中近東、インド、東欧、西欧、チュニス、アルゼリアなどのゲストハウスやサイトに勤めておりました。帰国後は、マルセイユで同じコンソーシアムだったトーヨーカネツという会社でデリカ部門でレストラン部門の役員として活躍していました。その間、雫石中学校の修学旅行の生徒を受け入れ、会社の役員室で会社の説明をして本社を案内した事がありました。平成13年定年になり、リクルートコスモスで女子学生会館で各会館の統一メニューやデザートなどを担当して、昨年10月フリーになり趣味の写真と俳句で都内近郊を歩いております。雫石町への希望は変わらない里山を100年後まで残してほしいと思っています。



読売新聞「特選」入賞作品前で

観音堂松雄さんプロフィール

昭和15年雫石町春木場生まれ 東京都在住 第一ホテル
(株)自慢本店 カネツデリカ(株)取締役 リクルートコスモス勤務経て定年退職
趣味は写真、旅行、俳句など

子どもたちから町議会はどんな仕事をしたり、どんな仕組みになっているのか質問が寄せられることがあります。そこで議会の仕組みについて子どもたちに分かるようにシリーズで解説しています。ご家族と一緒にご覧ください。

議会に行こう！一般質問における一問一答方式

町議会では、3カ月ごとに開催する定例会で、町民の代表である議員が、町長や教育長などに、町の方針や事務全般にわたって質問する「一般質問」を行っています。質問は、町政全般についての疑問点やそれぞれの議員の考え、また、その時期に問題となっていることを取り上げます。この一般質問のやり方について、昨年の12月定例会から一問一答方式を試験的に採用しました。これは、まず、あらかじめ提出している質問について答弁が行われた後、与えられた質問時間（1時間）内であれば、何回でも質問できるようにしたものです。このことによって、納得いくまで質問ができ、傍聴者も話の内容が理解しやすくなるなどの利点があります。これまでの方式に比べ、分かりやすくなったと傍聴者から好評をいただいております。一般質問を是非ご覧ください。



一般質問は写真中央の発言席から当局に対して行います

政務調査費って何？

平成12年5月に地方自治法の一部が改正され、議員の調査研究に必要な経費の一部として報酬とは別に、政務調査費を交付することができるようになりました。調査研究とは、地方行政などに関する制度や町政および国政の動向などの専門的な知識を得ることを指しており、これらに要する経費が対象となります。

交付に当たっては、地方公共団体が条例を制定します。

雫石町議会では現在、この条例を制定していません。したがって、政務調査費の交付も行っていない。

平成18年現在、県内35市町村のうち16で交付している状況です。

議会の主な動き 10～1月

- 10月 27日 雫中、雫高「公開研究協議会」
- 28日 しずくいし産業まつり
- 31日 町育樹祭
- 11月 1日 宮崎県西都市議会視察来庁
- 3日 町総合芸術祭開幕式
- 4日 第22回町内継走大会
- 7～8日 八幡平山系直轄砂防同盟会第2回要望会
- 9日 福島県大玉村議会視察来庁
- 10日 山形県山辺町議会視察来庁
- 14日 徳島県小松島市議会視察来庁
- 16日 町勢功労者表彰式
- 17日 雫石東八幡平奥産道協議会研修会
- 20日 福島県国見町議会視察来庁
- 22日 第50回町村議会議長全国大会
- 24日 臨時議会・学校保健関係者講演会
- 25日 第30回町社会福祉大会
- 26日 町PTA実践活動研修会
- 27日 総務常任委員会現地調査
- 29日 宮城県色麻町議会視察来庁
- 30日 教育民生、産業建設常任委員会合同調査
- 12月 8日 第7回議会定例会開会
- 11日 総務、教育民生、産業建設各常任委員会、議会改革調査特別委員会
- 12～13日 本会議（一般質問）
- 14日 本会議、議会運営委員会
- 15日 本会議、政務調査会、広報編集特別委員会
- 21～22日 米消費地研修視察
- 1月 4日 町新年交賀会
- 7日 交通指導隊初点検式、消防出初式
- 8日 成人式
- 12日 政務調査会、雫石町政務調査会・滝沢村政務調査会合同研修会

情報公開

議長交際費執行状況

【議長交際費とは...】

議長等が議会を代表し、外部との交渉、情報収集、町政協力者への謝意を表すために係る経費で、会費や香典などです。

【議長交際費内訳（10月～12月）】

月	葬祭費	お祝い、会費
10	1件 2万円	0件 -
11	0件 -	4件 1万8千円
12	1件 2万円	3件 1万6千円
小計(10月-12月)	4万円	3万4千円
年間総計(1月-12月)	7万8千円	24万7千円

編集デスク

昨年、日本漢字能力検定協会が全国公募した「今年の漢字」が、12月に京都の清水寺で発表された。92,509人の応募のトップは「命」。学校や職場でのいじめ、子どもの殺人、飲酒運転による交通事故、自殺などなど最近の風潮は命を粗末にする傾向だ。人の尊厳を尊重することが豊かな国づくりの始まりと思うのだが、現実自己中心主義がはびこっているのではないかと。人は本来、社会的な存在であるし社会性を身につけているはずだが、どうしたものか。

(編集委員 坂下栄一)